

<資料6>

『富士圏域医療と介護の情報連携の手引き』の改訂方針（案）

1 要旨

県では、医療・介護等の専門職向け支援ツールとして平成29年3月に策定した『静岡県在宅療養支援ガイドライン』を、令和4年3月に改訂した。

富士圏域においても、「退院支援ルール作成ワーキンググループ」(※)で退院支援に関する各機関の取組と課題、対応策等について意見交換を行った結果をもとに、富士圏域地域包括ケア推進ネットワーク会議において検討し、『富士圏域医療と介護の情報連携の手引き』を令和2年1月に作成した。

この『手引き』について、作成から3年が経過しており、この間に登載関係機関窓口一覧については時点修正を行ったものの、医療と介護の連携に関する状況は変化していることから、関係機関の意見を聞いた上で改訂を行う。

※ ワーキンググループ構成機関

各市医師会、公立3病院、居宅介護関係者、訪問看護関係者、各市担当課

2 手引きの内容

(1) 入退院支援の流れ

①担当ケアマネジャーがいる場合 ②担当ケアマネジャーがいない場合

(2) 各種様式例（情報提供書、退院前カンファレンスシート、連絡票など）

(3) 関係機関窓口一覧

①病院各種窓口 ②地域包括支援センター ③介護認定申請窓口

④在宅医療・介護連携支援窓口

3 改訂の概要

主として次の3点の改訂を行うほか、ICT活用に資する記載を追加する。

① 関係機関（ワーキンググループ構成機関）から改善の要望、意見があった部分

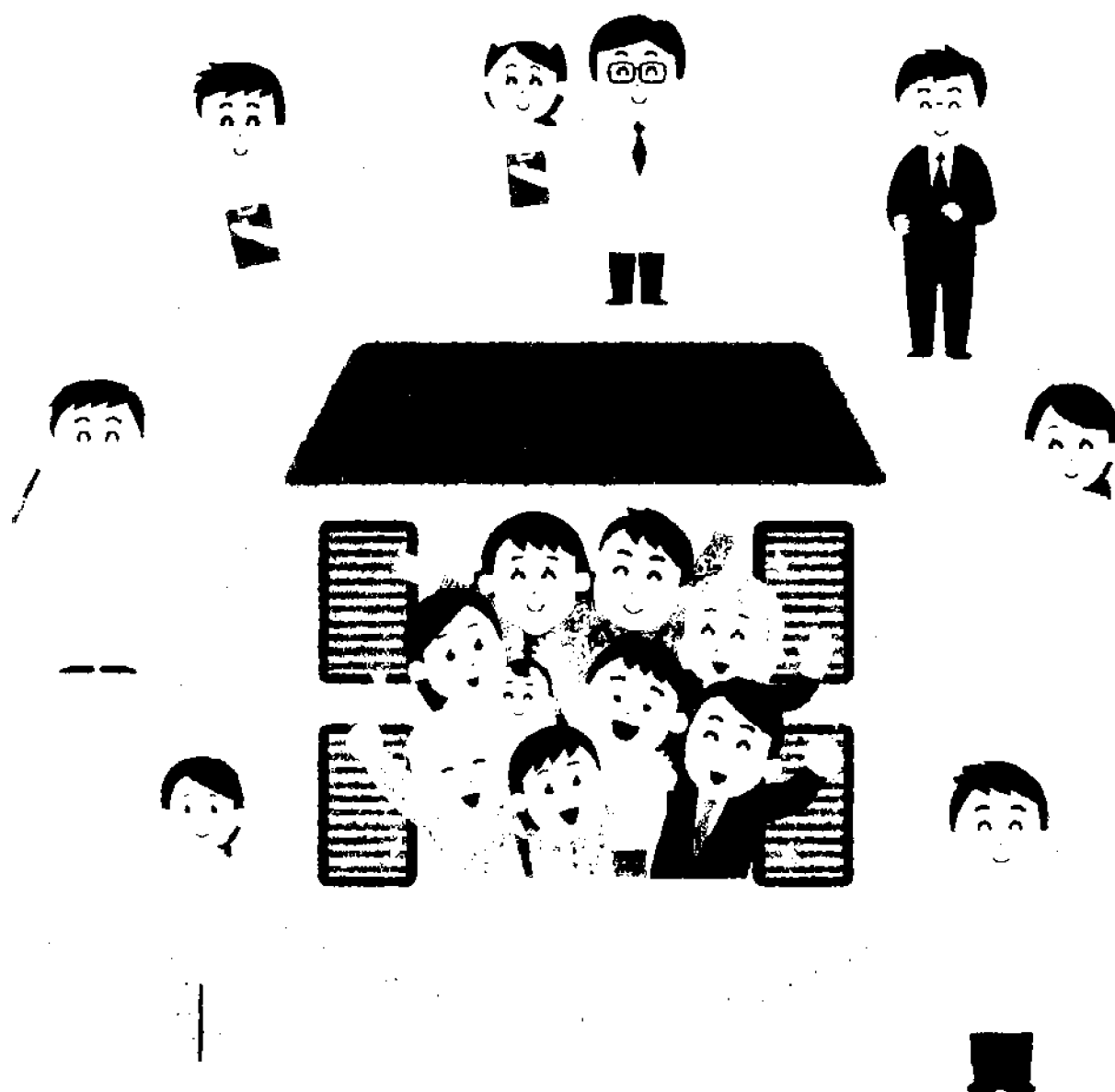
② 記載様式で市等において改正又は改正予定のあるもの

③ 関係機関窓口一覧の時点修正

4 作業スケジュール

時 期	内 容
令和5年2～3月	関係者（ワーキンググループ構成団体）へのアンケート
7月	第1回富士圏域地域包括ネットワーク会議で改訂方針案報告
7～9月	改訂案について関係者から意見聴取
10～11月	第2回富士圏域地域包括ネットワーク会議で改訂案決定
11月～1月	改訂手引き作成
令和6年2月	第3回富士圏域地域包括ネットワーク会議で作成報告
3月	HPに掲載、関係機関への冊子配布

入退院支援ガイドライン



静岡県富士健康福祉センター
(富士保健所)

はじめに	1
1 入退院支援の流れ	
①担当ケアマネジャーがいる場合	2
②担当ケアマネジャーがいない場合	7
2 各種様式例	
様式 1-1 入院時情報提供書(様式例)	10
(出典：厚生労働省)	
様式 1-2 在宅介護情報提供書(富士宮市共通様式)	12
(出典：富士宮市介護保険事業者連絡協議会居宅介護支援部会)	
様式 2 退院前カンファレンスシート	14
(出典：富士市在宅医療と介護の連携体制推進会議)	
様式 3 看護及び栄養管理等に関する情報の様式例	16
(出典：厚生労働省)	
様式 4 コミュニケーション・食事に関する報告書	18
(出典：静岡県言語聴覚士会)	
様式 5-1 主治医とケアマネジャーの連絡票(富士宮市共通様式)	20
(出典：富士宮市介護保険事業者連絡協議会居宅介護支援部会)	
様式 5-2 ケアマネジメント連絡票(富士市共通様式)	21
(出典：富士市介護支援専門員連絡協議会)	
3 関係機関窓口一覧	
①病院各種窓口	24
②地域包括支援センター	28
③介護認定申請窓口	29
④在宅医療・介護連携支援窓口	29